

# 資 料

資料1. アンケート調査内容・結果

資料2. ヒアリング調査内容・結果

資料3. セミナーチラシ

事業所についておうかがいします

- Q1 事業所の名称をお答えください。
- Q2 事業所の所在地（都道府県と市区町村）をお答えください。
- Q3 事業所の開設年月をお答えください。
- Q4 開設主体について、あてはまるものをお選びください。
- Q5 事業所の種別について、あてはまるものをお選びください。  
※報酬上の届出をしているものについてお答えください
- Q5A 主な障害種別について、あてはまるものをお選びください。
- Q6 施設の入所定員をお答えください。  
※短期入所は除いてください
- Q7 短期入所の人数を、以下の種類ごとにお答えください（いくつでも）
- Q8A 医療機関との併設または隣接状況について、医療機関ごとにあてはまるものをお答えください。（それぞれいくつでも）  
※併設：同一建物に医療機関等がある  
※隣接：同一敷地内で別棟の場合、もしくは隣接する敷地（道路を挟む場合を含む）にある
- Q9 配置している医師の体制について、それぞれ人数を入力してください。（いくつでも）
- Q10 事業所における令和5年11月における1日あたりの医師の延べ勤務時間（平均）を入力してください。  
※複数の医師がいる場合は、合算してください。  
例）1日延べ10時間勤務している医師が2名いる場合は、“20”を入力  
※往診や訪問診療による時間は含みません
- Q11 医師が定期的に勤務する日・曜日は決まっていますか。  
（毎月1日、毎月第3水曜日など）
- Q12 医師の勤務時間外の対応について、項目ごとにあてはまるものをお選びください。  
（それぞれひとつずつ）
- Q13 【入所者に対する緊急時の注意事項や病状等についての情報共有の方法】及び【曜日や時間帯ごとの医師との連絡方法や診察を依頼するタイミング】などについて、医師と事業所との間で、具体的な取り決めがなされていますか？
- Q14 入所者の緊急時に医師が不在のとき、医師との連携方法についてあてはまるものをお選びください。（いくつでも）
- Q16 協力医療機関の数を入力してください。
- Q17 主な協力医療機関の種類について、あてはまるものをお選びください。
- Q18 協力歯科医療機関はありますか？
- Q19 事業所の職員体制について、【A】～【C】の項目に数字を入力してください。  
ゼロの場合は“0”を入力してください。  
①生活支援員 ②看護職員

- Q20 看護職員が主に勤務している時間帯について、あてはまるものをお選びください。  
(それぞれひとつずつ)
- Q21 前問で「特定の時間帯に勤務している(○時～○時)」を回答していますが、具体的な時間をお答えください。  
※24時間表記でお答えください
- Q22 夜間の看護体制について、あてはまるものをお選びください。
- Q24 24時間体制の訪問看護ステーションとの連携について、あてはまるものをお選びください。
- Q25 夜間にたんの吸引ができる職員はいますか。

入所者についておうかがいします。※2023年10月1日時点

- Q26 ユニット(※)ケアを実施していますか。  
※ユニット：少数の居室及び当該居室に近接して設けられる共同生活室(当該居室の入所者が交流し、共同で日常生活を営むための場所)により一体的に構成される場所
- Q27 居室のトイレの設置状況について、あてはまるものをお選びください。  
※ポータブルを除いてお答えください
- Q28 障害支援区別入所者数について、区分ごとに数字を入力してください。
- Q29 年齢階級別入所者数について、年齢階級別ごとに数字を入力してください。
- Q30 入所者の平均年齢をお答えください。
- Q31 在籍年数別入所者数について、年数ごとに数字を入力してください。
- Q32 入所者の平均在籍年数をお答えください。
- Q33 医療的ケアを要する入所者数について、各項目ごとに数字を入力してください。  
※入所者で複数項目に該当する場合は、それぞれ入力してください。
- Q35 下記項目の算定状況について、あてはまるものを全てお選びください。  
(それぞれいくつでも) ※加算
- Q36 2022年度(22年4月1日～23年3月31日)の退所者の状況について、【A】～【B】の項目に数字を入力してください。  
※看取りとは無理な延命治療などは行わず、自然に亡くなるまでの過程を見守ること
- Q37 2022年度(22年4月1日～23年3月31日)の死亡による契約終了の状況について、【A】～【D】の項目に数字を入力してください。

ここからは施設における看取りの取組や本人、家族等の意思確認の状況についておうかがいします。

- Q38 看取りの受け入れ方針について、あてはまるものをお選びください。  
※看取りとは無理な延命治療などは行わず、自然に亡くなられるまでの過程を見守ること  
※息を引き取る場所が病院だった場合や、看取りの過程をケアした場合も含めてお考えください
- Q39 看取りを受け入れられないことがある場合、その理由を全てお選びください。  
(いくつでも)
- Q40 以下の看取りに関する項目について、あてはまるものをお選びください。  
(それぞれひとつずつ)  
看取りの方針、看取りのマニュアル、看取りに関する研修
- Q42 看取りの研修があると回答していましたが、その対象者について、あてはまるものをお選びください。(いくつでも)
- Q43 本人・家族等に対して、最期を過ごす場所や看取り介護、医療等について説明するための資料(パンフレット、リーフレット、書類)を準備していますか。
- Q44 基本的に、人生の最終段階における医療・ケア(※)について、本人、家族等へ説明し、本人の意思を確認または推定していますか。  
※人生の最終段階における医療・ケア：本調査においては、看取りのみならず、看取りの前段階の時期を含めた医療・ケアをいいます。
- Q45 人生の最終段階における医療・ケアについて、本人、家族等と事業所関係者が集まって話し合いを行っていますか？
- Q46A 看取りの話し合いを行っているかと回答していましたが、その対象者について、あてはまるものを全てお選びください。
- Q46B 人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いを繰り返し(複数回)行っていますか？
- Q46C 人生の最終段階における医療・ケアについて、本人、家族等と施設関係者との話し合いをいつ行っているか、あてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)
- Q46D 本人、家族等との話し合いの結果を記録するための書面様式について、あてはまるものをお選びください。
- Q48 他の医療機関・施設等から事業所に移ってくる場合についてお聞きします。  
入所前の場所で、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人、家族等で話し合った内容を引き継いでいますか？
- Q49 本人の意思決定が出来なくなった場合に備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないのかあらかじめ記載する書面(事前指示書)を用いていますか。
- Q50 基本的に、本人が医療・ケアの選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、本人の意思を推定できる人を確認していますか。
- Q51 本人の意思を推定できる人を確認しているのはいつですか。  
あてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)
- Q52 特に、看取りの進め方について、本人・家族等へ説明し、本人の意思を確認または推定していますか。
- Q53 説明や、本人の意思の確認または推定を行う対象についてあてはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

- Q54 以下の項目に関する過去1年の状況について、あてはまるものをお選びください。  
(それぞれひとつずつ)  
実施した看取り介護の振り返り 指針や実施体制の見直し
- Q55 看取りに関する一連の動きを主導（マネジメント）する職種について、あてはまるものをお選びください。
- Q56 看取りの際に、原則、配置医師が行っている事柄について、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）
- Q57 事業所での看取りケアにおける課題について重要なものは何ですか。  
あてはまるものを最大3つまでお選びください。（3つまで）
- Q58 グリーフケアを行っていますか。  
※グリーフケア：身近な人との死別を経験し、悲嘆に暮れる人を、悲しみから立ち直れるように支援すること

## 施設種別

種別	障害者支援施設	GH	未回答	合計
総計	528	1012	1	1541

Q2 事業所の所在地をお答えください。

都道府県	都道府県	障害者支援施設	GH	未回答
1	北海道	5	16	
2	青森県	22	32	
3	岩手県	10	9	
4	宮城県	6	5	
5	秋田県	20	14	
6	山形県	9	11	
7	福島県	18	27	
9	栃木県	12	22	
10	群馬県	25	35	
11	埼玉県	27	68	
12	千葉県	21	68	
13	東京都	31	165	
14	神奈川県	18	35	
15	新潟県		1	
19	山梨県	7	5	
20	長野県	19	20	
21	岐阜県	10	15	
22	静岡県	7	17	
23	愛知県	7	9	
25	滋賀県	4	25	
26	京都府	14	15	
27	大阪府	9	53	
28	兵庫県	35	46	
29	奈良県	11	20	
30	和歌山県	14	24	
31	鳥取県	6	9	
32	島根県	7	7	
33	岡山県	16	21	
34	広島県	11	18	
35	山口県	19	14	
36	徳島県	13	9	
37	香川県	4	6	
38	愛媛県	15	19	
39	高知県	12	4	
40	福岡県	20	50	
42	長崎県	11	34	
43	熊本県	13	11	
44	大分県	8	28	
45	宮崎県	3	4	
47	沖縄県		4	
未回答	未選択	9	17	1
総計		528	1012	1

Q3 事業所の開設年月をお答えください。

開設年階層	障害者支援施設	GH	未回答	合計
1950～1959年	11	1		12
1960～1969年	28	1		29
1970～1979年	96	4		100
1980～1999年	135	13		148
1990～1999年	111	58		169
2000～2009年	83	250		333
2010～2023年	60	677		737
未回答	4	8	1	13
総計	528	1012	1	1541

Q4 開設主体について、あてはまるものをお選びください。

開設主体	障害者支援施設	GH	未回答	合計
市区町村、広域連合、一部	8	5		13
社会福祉法人	507	407	1	915
医療法人		44		44
公益法人		3		3
協同組合				0
営利法人		219		219
NPO法人		227		227
その他	13	107		120
総計	528	1012	1	1541

Q5 事業所の種別について、あてはまるものをお選びください。

主な障害	障害者支援施設	GH	未回答	合計
知的障害	357	614	1	972
身体障害	150	36		186
精神障害	10	317		327
その他	10	44		54
未回答	1	1		2
総計	528	1012	1	1541

Q6 施設の入所定員をお答えください。（短期除く）

定員階層	障害者支援施設	GH	未回答	合計
5人以下	4	107		111
5～9人	5	276		281
10～19人	8	309	1	318
20～39人	92	238		330
40～59人	264	50		314
60～79人	75	13		88
80～99人	48	8		56
100～199人	22	5		27
200人以上	5			5
未回答	5	6		11
総計	528	1012	1	1541

Q7 短期入所の人数を、以下の種類ごとにお答えください。

短期状況	障害者支援施設	GH	未回答	合計
併設型	390	135		525
空床型	87	64		151
いずれも実施していない	47	804	1	852
未回答	4	9		13
総計	528	1012	1	1541

Q8 医療機関との併設または隣接状況について、医療機関ごとにあてはまるものを全てお答えください。

病院併設状況	障害者支援施設	GH	未回答	合計
併設している	3	6		9
隣接している	20	38		58
併設も隣接もしていない	458	945	1	1404
未回答	47	23		70
総計	528	1012	1	1541

Q9-1 配置している医師の体制について、それぞれ人数を入力してください。／【常勤】医師

常勤医師の人数	障害者支援施設	GH	未回答	合計
0人	3	1		4
1人	7	4		11
2人	1			1
3人		1		1
4人		1		1
6人	1			1
13人		1		1
未回答	516	1004	1	1521
総計	528	1012	1	1541

Q9-2 配置している医師の体制について、それぞれ人数を入力してください。／【非常勤】医師

非常勤医師の人数	障害者支援施設	GH	未回答	合計
0人		1		1
1人	238	31		269
2人	61			61
3人	20			20
4人	6			6
5人	2	2		4
10人	1			1
22人	1			1
未回答	199	978	1	1178
総計	528	1012	1	1541

Q10 事業所における令和5年11月における1日あたりの医師の延べ勤務時間（平均）を入力してください。

R5年11月中の医師の一日の平均勤務時間	障害者支援施設	GH	未回答	合計
1時間	146	14		160
2時間	46	2		48
3時間	7			7
4時間	14	2		16
5時間	1			1
6時間	4			4
8時間	10	3		13
10時間	2			2
11時間	2			2
12時間	1	1		2
16時間	2			2
38時間	1			1
48時間	1			1
未回答	291	990	1	1282
総計	528	1012	1	1541

Q11 医師が定期的に勤務する日・曜日は決まっていますか。

医師が定期的に勤務する日・曜日は決まっていますか。	障害者支援施設	GH	未回答	合計
決まっている	263	13		276
決まっていない	63	21		84
未回答	202	978	1	1181
総計	528	1012	1	1541

Q12-1 医師の勤務時間外の対応について、項目ごとにあてはまるものをお選びください。  
／勤務時間外の平日日中

医師の勤務時間外の平日日中の対応	障害者支援施設	GH	未回答	合計
原則対応しない	88	14		102
電話対応のみ	163	11		174
電話対応に加え、駆け付け	66	5		71
未回答	211	982	1	1194
総計	528	1012	1	1541

Q12-2 医師の勤務時間外の対応について、項目ごとにあてはまるものをお選びください。  
／勤務時間外の平日夜間

医師の勤務時間外の平日夜間の対応	障害者支援施設	GH	未回答	合計
原則対応しない	177	18		195
電話対応のみ	88	7		95
電話対応に加え、駆け付け	34	4		38
未回答	229	983	1	1213
総計	528	1012	1	1541

Q12-3 医師の勤務時間外の対応について、項目ごとにあてはまるものをお選びください。  
／勤務時間外の休日日中

医師の勤務時間外の休日日中の対応	障害者支援施設	GH	未回答	合計
原則対応しない	172	19		191
電話対応のみ	91	6		97
電話対応に加え、駆け付け	37	4		41
未回答	228	983	1	1212
総計	528	1012	1	1541

Q12-4 医師の勤務時間外の対応について、項目ごとにあてはまるものをお選びください。  
／勤務時間外の休日夜間

医師の勤務時間外の休日夜間の対応	障害者支援施設	GH	未回答	合計
原則対応しない	183	19		202
電話対応のみ	79	6		85
電話対応に加え、駆け付け	34	4		38
未回答	232	983	1	1216
総計	528	1012	1	1541

Q26 ユニットケア（※）を実施していますか。

※ユニット：少数の居室及び当該居室に近接して設けられる共同生活室（当該居室の入所者が交流し、共同で日常生活を営むための場所）により一体的に構成される場所

ユニットケアを実施していますか。	障害者支援施設	GH	未回答	合計
実施している	96	337	1	434
実施していない	413	653		1066
未回答	19	22		41
総計	528	1012	1	1541

Q29 年齢階級別入所者数について、年齢階級ごとに数字を入力してください。 人数

	障害者支援施設	GH	未回答	合計
入居者年齢20歳未満	134	152	0	286
20～29歳	1446	1822	0	3268
30～39歳	2370	2424	0	4802
40～49歳	4448	3036	0	7487
50～59歳	6110	3691	0	9805
60～64歳	2792	1454	0	4246
65～74歳	3992	1505	0	5497
75～79歳	1241	291	0	1532
80～84歳	501	95	0	596
85～89歳	161	29	0	190
90歳以上	67	10	0	77
合計	23262	14509	0	37786

Q30 入所者の平均年齢をお答えください。 年

主な障害種別	障害者支援施設
知的	47.95
身体	56.36
精神	47.25
その他	47.64
未回答	45.50
総計	48.77

Q31 在籍年数別入所者数について、年数ごとに数字を入力してください。 人数

	障害者支援施設	GH	未回答	合計
在籍年数5年未満	4173	6795	0	10973
5～9年	3169	3077	0	6256
10～14年	2964	2195	0	5159
15～19年	2547	1411	0	3958
20～24年	2355	381	0	2736
25～29年	2028	221	0	2249
30～34年	1726	80	0	1806
35～39年	1392	11	0	1403
40～44年	1051	13	0	1064
45～49年	555	28	0	583
50年以上	447	19	0	466
合計	22407	14231	0	36653

Q39 看取りを受け入れられないことがある場合、その理由を全てお選びください。

看取りを受け入れない場合の理由 全て受け入れる	障害者支援施設	GH	未回答	合計
受け入れられない理由はない（すべて受け入れる）	434	849	1	1284
看護職員の数から	13	40		53
未回答	81	123		204
総計	528	1012	1	1541

Q40-1 以下の看取りに関する項目について、あてはまるものをお選びください。／看取りの方針

看取りの方針の有無	障害者支援施設	GH	未回答	合計
無	417	861	1	1279
現在準備中	31	53		84
有	32	35		67
未回答	48	63		111
総計	528	1012	1	1541

Q40-2 以下の看取りに関する項目について、あてはまるものをお選びください。  
／看取りのマニュアル

看取りのマニュアルの有無	障害者支援施設	GH	未回答	合計
無	432	889	1	1322
現在準備中	27	42		69
有	22	16		38
未回答	47	65		112
総計	528	1012	1	1541

Q40-3 以下の看取りに関する項目について、あてはまるものをお選びください。  
／看取りに関する研修

看取りに関する研修の有無	障害者支援施設	GH	未回答	合計
無	420	886	1	1307
現在準備中	27	39		66
有	31	21		52
未回答	50	66		116
総計	528	1012	1	1541

- Q43 本人・家族等に対して、最期を過ごす場所や看取り介護、医療等について説明するための資料（パンフレット、リーフレット、書類）を準備していますか。

看取りに関する説明資料の有無	障害者支援施設	GH	未回答	合計
準備している	31	22		53
準備していない	466	941	1	1408
未回答	31	49		80
総計	528	1012	1	1541

- Q44 基本的に、人生の最終段階における医療・ケア（※）について、本人、家族等へ説明し、本人の意思を確認または推定していますか。

※人生の最終段階における医療・ケア：本調査においては、看取りのみならず、看取りの前段階の時期を含めた医療・ケアをいいます。

本人、家族等へ説明し、本人の意思の確認や推定	障害者支援施設	GH	未回答	合計
定期的に行なっている	40	19		59
不定期的に行なっている	177	136		313
行なっていない	277	810	1	1088
未回答	34	47		81
総計	528	1012	1	1541

- Q49 本人の意思決定が出来なくなった場合に備えて、どのような医療・ケアを受けたいのか、あるいは受けたくないのかをあらかじめ記載する書面（事前指示書）を用いていますか。

本人の意思を確認するための書面を用いているか	障害者支援施設	GH	未回答	合計
施設の方針として、用いている	95	50		145
施設の方針は特にないが、用いていることもある	70	92		162
用いていない	320	781	1	1102
未回答	43	89		132
総計	528	1012	1	1541

Q50 基本的に、本人が医療・ケアの選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、本人の意思を推定できる人を確認していますか。

意思決定が難しい人に対して本人の意思を推定できる人を確認しているか	障害者支援施設	GH	未回答	合計
定期的に行なっている	135	139		274
不定期に行なっている	201	298		499
行なっていない	148	496	1	645
未回答	44	79		123
総計	528	1012	1	1541

Q51 本人の意思を推定できる人を確認しているのはいつですか。あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）

確認しているのはいつか	障害者支援施設	GH	未回答	合計
	528事業所中	1012事業所中	1事業所中	1541事業所中
医師に一般的に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがないと診断された時期	177	116		293
病状の進行、衰弱傾向を認める時期	211	186		397
サービス等利用計画作成、または変更時	88	132		220
個別支援計画作成、または変更時	159	205		364
本人、家族等から人生の最終段階の医療・ケア等について相談があったとき	171	188		359
状態に関係なく、施設に入所したとき	134	165		299
状態に関係なく、定期的に（数カ月～半年に1回程度）	11	21		32
状態に関係なく、定期的に（年1回程度）	24	34		58
状態に関係なく、定期的に その他	10	15		25
その他	9	18		27

Q57

事業所での看取りケアにおける課題について重要なものは何ですか。あてはるものを最大3つまでお選びください。

看取りケアにおける課題 重要なもの3つ	障害者支援施設	GH	未回答	合計
キーパーソンがいない場合の対応				
グループホームで看取りまでのケアは現実的でない				
ケアマネ				
そもそもの制度設計自体が対応できていない				
ナシ				
なし		2		2
まだ検討していない。				
医師、看護師がいない、配置する想定が無い				
該当ありません				
看護師の配置				
看護職員 医師の配置ができる基盤整備				
看取ケアなし				
看取りが必要な方の受け入れはしていない				
看取りケアと呼ばれるものの定義				
看取りケアは行わない				
看取りケア対応なし				
看取りにかかる制度の問題（GH訓練等給付）				
看取りはしない				
看取りは実施していない				
看取りは想定していない				
看取りをしていない				
看取りを実施していない				
看取りを必要と考えている利用者があるかのニーズ調査から				
見取りはできない				
現在、実施なし				
現状高齢利用者がいない				
現状取り決め自体が不十分なので回答困難				
後見人				
行っていない	2			3
行なわない				
行わない				
高齢利用者が現状いないので今後の課題としたい				
事業所の努力に依拠するのではなく、看取りを行える制度設計。既存のグループホームを終の棲家にするための報酬体系の転換。				

実施してないため不明				
実施の予定がない				
実施予定なし				
終の住処と想定していない。				
上記要因に伴う費用の捻出				
職員の意識				
親族他関係各所との協力・信頼関係の構築				
生活介護のため、看取りを行っていない				
設備				
設備、人材、人件費から障害者ghでは、限界がある、定員全員が看取りが必要になった時、運営できない。高齢サービスへの移行を個別に家族と協議している				
想定していない		2		3
他の利用者の心理的影響				
知的障害の若い入居者が多く、それらの入居者への影響				
通過型なので看取りをすることがない				
当施設では看取りは行わない				
特にありません				
特にない				
特に無し				
日中の支援がないので、不可能				
配置医師が24時間以内に診察を行っていない利用者の死亡診断書は書けないと言われていること				
分かりません				
法整備				
訪問医療看護の早期導入				
本社方針				
未回答	514	964		1479
総計	528	1012		1541

Q58 グリーフケアを行なっていますか。

グリーフケアを行なっているか	障害者支援施設	GH	未回答	合計
定期的に行なっている		2		2
不定期に行なっている	38	62		100
行なっていない	446	884		1331
未回答	44	64		108
総計	528	1012		1541

## 終末期調査インタビューガイド

目 的：“看取り”準備マニュアル(仮)作成のための情報収集

対 象：知的障害者の看取り実施事業所(過去に看取った経験のある事業所含む)

選定条件：アンケート調査の結果、「看取りを実施した経験がある」事業所で、「ヒアリング協力可」と回答のあった事業所及び委員推薦事業所

項目案：

- なぜ事業所で看取りをしようと思ったのか
- 実施にあたっての準備とハードル
- 準備マニュアルに組み込んだ方がよい内容

準備マニュアル内容例：

看取りの仕組み

- ・ACP/意思決定支援の内容、回数
- ・看取りに関する(施設の方針、家族の意見、支援員の反応、看護体制、地域連携、他)

ACP/意思決定方法について

- ・メンバー、回数、支援内容、場所、内容、方法、回数、医療連携、他

看取り事例について

- ・これまでの死亡事例の状況(園内(有れば)園外)  
(場所、疾患名、年齢、ACP/意思決定方法、)
- ・看取り実施の決定手続き

看取れないケースについて

- ・なぜ看取れなかったか
- ・他施設(医療機関)利用に関すること

グリーフケアについて

- ・実施状況
- ・ケア体制

逝去後の手続き等

- ・お葬式、火葬、納骨、家族対応、他



令和6年度厚生労働科学研究費補助金  
障害者支援施設や共同生活援助事業所、居宅支援における高齢障害者の看取り・終末期の支援を行うための研究

# 障害者支援施設やグループホームでの看取り 一緒に考えませんか？

意思決定支援の中で利用者が最期の場合として事業所を選んだ場合、どのように対応していますか？

令和4年度時点で、看取りの希望  
があれば看取る予定の障害者支  
援施設等の割合

22.2 %

令和4年度1年間に看取りを行っ  
た障害者支援施設等の割合

3.4 %

※データは全てR5年度実態調査結果より

## 22.2%の障害者支援施設等の 体制整備状況

看取りの方針 準備中or有る	36.9%
看取りのマニュアル 準備中or有る	26.6%
看取りの研修 準備中or有る	26.8%

## セミナー コンテンツ

1. 看取りの実態とこれから
2. 実践報告 わたしたちの看取り
3. 看取りマニュアルの概要と使い方
4. ミニシンポジウム  
これからの看取りのあり方と課題を考える  
一意思形成・表出・実現についてー

### セミナー登壇者のご紹介



1 古川慎治  
国立のぞみの園



1 松崎貴之氏  
厚生労働省



2 荒井隆一氏  
ロザリオの聖母会



2 恒松祐輔氏  
つつじヶ丘学園



3 根本昌彦  
国立のぞみの園



4 本名靖氏  
本庄ひまわり福祉会



4 庄司妃佐氏  
東京福祉大学



4 鶴岡浩樹氏  
日本社会事業大学  
つるかめ診療所



4 井上博氏  
要泉会

独立行政法人 国立のぞみの園

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120-2

電話 : 027-320-1357 研修担当 : 槻岡(つきおか)・長井

E-mail : nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp



## お申込み方法



QRコードもしくは  
国立のぞみの園ホームページよりお  
申し込みください

<https://www.nozomi.go.jp/>

## 参加費

無料

視聴後は、アンケートのご協力を  
お願い致します

## お申込み期間

令和7年2月18日10時～3月10日17時まで

## 配信期間

令和7年3月3日～3月17日

このチラシのデザインは、「マイホーム」をイ  
メージしています マイホームとは、一般  
的に自分や家族のために購入または建設さ  
れる住宅を指しますが、「自宅」という意味  
以上の、安心感や居心地の良さを象徴する  
言葉としても使われます

このセミナーは、令和6年度厚生労働科学研究費補助金「障害者支援施設や共同生活援助事業所、居宅支援における高齢障害者の看取り・終末期の支援を行うための研究」の一環で行います。

令和5年に実施した実態調査で、障害者支援施設等での看取りの対応が少ないことが明らかになった現状を踏まえ、これから看取りの対応が求められる事業所に向けに作成した看取りマニュアルの内容の紹介と、今後の障害者支援施設等での看取りのあり方に関するミニシンポジウムを、研究者と実践者で、中でも実践者には、グループホームと障害者支援施設を、また、看取りを実践している事業所とその必要性を感じ今後のあり方を模索している事業所の管理者に登壇していただき行います。

今後の高齢期の障害者支援のあり方を、安心感や居心地の良さを感じる最期の迎え方を、共に考える機会となれば幸いです。皆さまのお申し込みを心よりお待ちしております。